

1 学校関係者評価委員会での評価と意見聴取

- ・学校評価の評価項目や様式が変わり、内容が分かりやすくなった。
- ・児童は家の前を通るとき、大きな声であいさつをしてくれ、元気をもらっている。
- ・三波公民館が新しくなり、児童たちはよく遊びに来る。公民館行事も参加してくれている。
- ・基本的な生活習慣でゲームの時間について話があったが、ルールを守るのは難しい。児童が不正なアクセスをしないか心配である。指導をお願いしたい。
- ・タブレットを使うことで効果があるように活用してほしい。

2 成果と課題

《成果》

- ・職員は、本校の目指す姿をイメージし、学力向上プランの取組を実践することで、学力の向上を図っている。特に ICT の効果的な活用と板書のバランスを考え、分かりやすい授業に努めている。
- ・児童理解の会等での共通理解や共通指導を徹底し、児童のより良い人間関係の構築に努めた結果、友達と一緒に遊んだり、活動したりするのは楽しいと答える児童が100%であった。
- ・校外学習時においても、自分からあいさつできる児童が多く、特に語先後礼のあいさつが良き伝統となっている。
- ・継続的な避難訓練を通し、非常災害発生時の避難行動の仕方を身に付けさせていることで、児童は自分で考えて行動できるようになってきている。

《課題》

- ・C及びD評価の項目に関しては、少数であるが、改善に向けて学校全体で計画的に取り組むことが必要である。
- ・基本的な生活習慣が身に付いていない児童に対し、お便り等で保護者の意識の啓発を行ったり、児童委員会でその大切さについて調べる活動をさせたりして基本的な生活習慣の向上を図っていく。
- ・1学期は新型コロナウイルス感染症対策のため、ゲストティーチャーを招いての授業ができなかった。2学期は予防策をとりながら、計画的にゲストティーチャーを活用した授業や校外学習を行ったりして地域との連携を深めていく。